

話題の  
00H

# 複数の映像媒体を連繋 札幌JRタワーで業界初の実験

今年3月にオープンした札幌 JRタワー東口コンコースで、50秒のPDP(プラズマディスプレイパネル)を使った「インターネットポスター」、さらに外向けの

今年3月にオープンした札幌 JRタワー東口コンコースで、50秒のPDP(プラズマディスプレイパネル)を使った「インターネットポスター」、さらに外向けの

プロジェクトを備えたプロジェクトスタジオ「駅スタ」を連繋させた情報・広告の配信実験を9月25、26日の2日間実施した。

開いたソニー・ピクチャーズ・エンタテインメント配給の「S・W・A・T」で、JRタワー内にあるJRシネフロンティアと配給会社の協力

実施したのは、コンコースの角柱8本に16台のPDPを設置し、情報をデジタル配信する電子ポスター事業を行うアイティ・ニュース(株)と50秒PDP9台を使った大型マルチビジョンを運営す

る札幌駅南口開発(株)本社札幌市、坂本眞一社長)、北海道文化放送とエフエム北海道が番組やイベントに使用しているサテライトスタジオを運営しているトライ・ビー

☆夕夕発でS・W・Aアイティ・ニュースの唐川社長によると、「JRタワーの東口コンコースはポスターなどの紙媒体を使わない方針なので、今後これらの映像媒体やスタジオを連繋し、マーケティングなどに活用していきたい」と話している。



インターネットポスター(右)、9面マルチビジョン(右下)

電車の媒体を二社が担

占して使用するA Dトレインや駅を広告媒体で埋め尽くす駅ジャック広告、複数の屋外大型ビジョンを連繋させるシンクロ放映など、これまで数多くの取組みがなされてきたが、異なる映像媒体や生番組を組み合わせたメディアミックスは業界初だという。

なお、PDPで使ったのは30秒の素材(25日37本、26日102本の合計139本)、9面マルチは2分の素材(25日13本、26日32本の合計45本)、駅スタでは北海道文化放送の30分の情報生番組「えき



話している。